

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

| | |
|----------|--|
| P T A名 | 静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 P T A |
| 学 校 名 | 静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱 |
| 設 置 部 | <input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部 |
| 全校児童・生徒数 | 36人 |

1. 使用状況

| | |
|---------------|--|
| 寄贈物品名 | 耕運機 |
| 使用学年及び人数 | 園芸班 9人 |
| 使用頻度 | 週1回程度 |
| 使用状況 | 畑を耕す際に使用している。春夏野菜の栽培をはじめめる時期、秋冬野菜を栽培する時期、花壇の植え替えをする際に使用する。 |
| 物品の使用による変化や効果 | 耕運機を2台寄贈していただいたおかげで作業を効率的に進めることができています。土を耕す効率が上がることで、他の活動に充てる時間が増え、生徒の活動の幅が広がり、栽培する野菜の種類を増やすことができた。耕運機を扱う機会を増やすことで、生徒自身の安全意識を高めたり、機械を使うことで作業効率が上がることを学んだりすることができた。 |
| 今後の活用の見通しや課題 | 作業時間が短縮されることによりミーティングに充てる時間が増え、園芸についての知識をさらに深められるようになる。時間に余裕ができたことで野菜の観察や手入れを行う時間が増え、品質の良い野菜の栽培につなげることができる。 課題として、危険が伴う活動になるため、生徒の危機管理、安全意識を高める必要があると考える。 |
| その他希望や所感など | 機械を扱うことで効率が上がることや場所によっては、鍬などを使用し、手作業で行うことが効率的であることなどを学ぶ機会としたい。また機械を扱うことを通して、危険性や安全意識を高めることにつなげていきたい。 |

2. 活用の様子

【耕運機使用時の様子】

